

演劇学科

- Q 洋舞コースのリズム運動や基本動作とは、どんなことをするのですか？
- A 指示された動作を、手拍子あるいは音楽等のリズムにあわせて行います。また、与えられた課題を即興で表現することも、あわせて行います。
- Q ミュージカルに興味があるのですが、どのコースを選べば良いですか？
- A 演技コースをお選びください。演技コースの教育は、特定のジャンルの俳優術ではありませんが、パフォーミングアート（舞台表現の芸術）をめざす人々が必ず身につけておくべき技術（身体的、精神的）についての教育を行っているからです。また、スタッフ希望者はこのことを学んだ上で専門領域（演出、照明、装置等）を並行履修してください。
- Q 演劇学科の舞台関係の施設について教えてください。
- A 江古田校舎には、主に「舞台総合実習」や「卒業制作」など、舞台発表や、その他さまざまな関連公演などで使用される本格的なプロセニウムアーチ型劇場、「中ホール」（客席数：249席、間口：8間、奥行き7間、高さ：4間半）が完備されています。充実した音響・照明設備（デジタル調光卓）を備え、「中ホール」のある北棟内には、実際の舞台面と同じ広さを持つ実習室（稽古場）が3室、その他、演劇、洋舞、日舞など、実習授業や舞台発表に向けた稽古場として使用できる本格的な大小6つの実習室（稽古場）も用意されています。また、ワークショップや試演などにも利用できる自由なスペースとして、「小ホール」（間口：5間、奥行き6間）も完備しています。両ホールの地階には、舞台で使用する大道具や小道具の製作を实践できる、十分な空間と充実した大型機器を備える製作場もあり、「中ホール」を中心とした北棟内には、舞台創造や演劇研究に必要な施設がすべて用意されています。また、所沢校舎には、オープン・ステージ形式の劇場空間があり、基礎課程における実習発表の場として利用されています。
- Q 一般推薦入学試験の出願資格「2年以上の演劇・舞踊・芸能等の芸術活動」について教えてください。
- A 小学校・中学校・高等学校（劇団・養成所・舞踊研究所などを含む）において、2年以上にわたって舞台芸術（演劇・舞踊・芸能など）に何らかの役割で参加し、成果をあげたことが重要になります。大学が求めることは、斬新で説得力のある表現力、深く感性豊かな人間洞察力、さらに独創的なアングルによる構成力などがあげられます。あまり小手先の技術にとらわれないうで、真の自分の魅力を発揮することが必要です。原則として活動の経験年数が優劣になることはありませんが、コンクール等で受賞した事実は「客観的評価を受けた優れた創造」という点で評価されます。当日の「持参作品等」では、まず、あなたが参加した公演名、果たした役割、期日、場所など活動の事実内容を明記してください。その創造プロセス及び結果をまとめた作品（各プランや図面など）や資料（パンフレット、チラシ、アルバムなど）を用意できると良いでしょう。
- Q 実技試験時に持参する物はありますか？
- A 演劇学科の演技コースは体操着、上履き等の準備が必要です。（更衣室を設けています）装置コースは最近の自作作品（水彩画〈モチーフは自由、A2サイズ〉）を面接時に持参してください。日舞コースは着物・帯・足袋・扇・上履きを持参し、自由選択の曲については、カセットテープ、CDあるいはMDを用意してください。洋舞コースは稽古着（タイツ・レオタード・シューズ）を持参してください。
- Q 演劇学科演技コースの実技試験のための特別な準備は必要なのでしょうか？
- A 実技試験に臨むにあたっては、限られた時間の中で集中して十分に実力を発揮されることが大切です。〈演技〉のセッションでは、エチュード課題にそった表現が要求されます。また、この〈演技〉のセッションでは言葉による表現の感性やリアリティが問われることも付け加えておきます。〈音感・リズム感〉のセッションでは、^{からだ}身体の内側からわきおこる生き活きたエネルギーと、歌唱という素直な情動に裏打ちされた表現が、きっと説得力につながるでしょう。いずれも見せかけの技術に陥らないで、自由な感性を発揮しよう心がけてください。
- Q 実技試験に要する時間を教えてください。
- A 演技コースの受験生は、面接試験等の待ち時間も含め、ほぼ半日から一日の間拘束されます。また、装置コースは2時間、日舞コースは10分程度、洋舞コースは40分程度です。演技コースは、①演技（台詞を含むエチュード）、②音感・リズム感（歌唱も含む）をそれぞれ別会場で行い、各会場での所要時間は、それぞれ45分（10人1組）程度です。